

香川県教育委員会 12月定例会会議録

1. 開催日時 令和2年12月21日(月)
開会 午前 9時30分
閉会 午前 9時50分

2. 開催場所 教育委員室

3. 教育委員会出席者の氏名

教育長	工代祐司
委員	藤村育雄
委員	小坂真智子
委員	平野美紀
委員	槇田實
委員	藤澤茜

4. 教育長及び委員以外の出席者

副教育長	小川秀樹
教育次長兼政策調整監	井元多恵
教育次長	小柳和代
総務課長	白井道代
義務教育課長	原田智
高校教育課長	金子達雄
特別支援教育課長	北村宏美
保健体育課長	宮滝寛己
生涯学習・文化財課長	渡邊智子
政策主幹兼総務課副課長	福家啓充
生涯学習・文化財課長補佐	古野徳久
高校教育課主任指導主事	亀田龍輔
特別支援教育課主任指導主事	鳥井口隆
総務課主任	大原裕次郎
総務課主任主事	新美智美

傍聴人 なし

5. 会議録の承認

11月定例会の会議録署名委員の藤澤委員から、同定例会の会議録について適正に記載されている旨報告。

各委員に諮り、これを承認した。

6. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議題については、非公開とすべき案件がない旨、発言。

7. 議案

- 議案第1号 専決処分事項の承認（令和2年11月香川県議会定例会に提案された教育委員会関係議案（追加提案分）に対する意見について）

総務課長から、令和2年11月香川県議会定例会に追加で提案された教育委員会関係議案（公立学校職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例、職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例、知事等の給与、旅費及び退職手当に関する条例の一部を改正する条例）に係る地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に規定する教育委員会の意見について、議会日程等の都合上、教育長の専決により「異議なし」と回答した旨、報告。

【質疑】 無し

8. その他事項

- その他事項1 令和3年3月香川県公立高等学校卒業予定者の就職内定状況について

高校教育課長から、令和3年3月の香川県公立高等学校及び県立特別支援学校の卒業予定者の就職内定状況について説明。

【質疑・意見交換】

<平野委員> コロナ禍の関係で、もともと進学を希望していた生徒が就職に希望を変更したとか、就職希望者数の増減に影響は生じていないのか。

<高校教育課職員> 各学校から聞き取りをしているが、進学希望から就職希望に変更した生徒の事例はないと聞いている。就職希望者の人数については、昨年の11月時点と比較すると66人減っている。公立学校の話になるが、定時制の就職希望者は例年であれば30人前後のところ、昨年は50人以上が就職を希望していた。それが今年は例年並みの30人程度に戻ったことから、昨年より20人程度減少している。また、高松商業高校においても、例年50人程度いる就職希望者が、コロナ禍の影響とは関係なく、今年に限っては進学希望者が多く、30人程度となっている。昨年度と比較して、就職希望者数の全体の減少数が約60人で、その内の約40人がそのような理由で減っており、残りの20人は就職から進学に希望を変更したのかもしれないが、学校からの聞き取りでは、コロナ禍の影響で就職あるいは進学の希望を変更した生徒がいるという話は聞いていない。4月や5月の早めの段階で、各学校に就職状況の確認をするよう指示しており、ジョブサポートティーチャーが企業の求人情報を適切に把握し、その情報を生徒に提供できていた成果ではないかと考えている。

＜小坂委員＞定時制の就職希望者数は、昨年度が例年より多く50人程度で今年
は例年並みの30人程度という説明であったが、定時制の生徒はすべての生徒
が就職希望となっているのか。

＜高校教育課職員＞定時制の生徒のすべてが就職希望というわけではなく、進学
を希望する生徒もいる。なお、就職を希望する生徒についても、様々な事情で
在学中に就職が決まらず、卒業後にハローワーク等を通じて就職する生徒もい
る。

＜教育長＞求人倍率は2.95倍あるが、このコロナ禍で観光業関連等の求人は
減っているのではないかと思う。そのようなことで、就職を希望していた業種
を変更した事例もあるのではないか。

＜高校教育課職員＞実際に就職活動が始まった7月時点で、ホテル関係で求人
を出していた企業があったが、その企業が求人を取り下げたことから、その求人
に自校の生徒の就職を考えていた学校については、他の求人に切り替えるなど
の影響が生じているものと考えている。

○その他事項2 香川県文化財保存活用大綱の策定について

生涯学習・文化財課長から、香川県文化財保存活用大綱の策定について説明。

【質疑・意見交換】 無し